



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月12日

東

上場会社名 株式会社バンク・オブ・イノベーション 上場取引所
コード番号 4393 URL <https://www.boi.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 智裕
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0経営管理部長 (氏名) 河内 三佳 (TEL) 03-4500-2899
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績(2024年10月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	9,427	△12.5	1,644	23.4	1,666	22.9	849	△0.2
2024年9月期第3四半期	10,777	△39.8	1,332	△72.1	1,356	△71.7	851	△74.1

(注) 包括利益 2025年9月期第3四半期 849百万円(△0.2%) 2024年9月期第3四半期 851百万円(△74.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	213.76	—
2024年9月期第3四半期	213.30	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	7,169	5,315	74.1
2024年9月期	5,802	4,466	77.0

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 5,315百万円 2024年9月期 4,466百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日～2025年9月30日)

2025年9月期の連結業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P. 2「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期3Q	4,003,000株	2024年9月期	4,003,000株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	28,657株	2024年9月期	28,608株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期3Q	3,974,370株	2024年9月期3Q	3,991,908株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進むことにより持ち直しの動きがみられております。しかしながら、継続的な物価上昇による消費者マインドの弱含みや、米国の政策動向の影響がわが国の景気を下押しするリスクとなっているほか、金融資本市場の変動等の影響にも十分注意する必要があると考えられます。

当社グループの事業を取り巻く環境においては、2024年における世界のモバイルゲーム市場規模（速報値）は12兆4,103億円、そのうち日本国内では1兆7,290億円と高い水準で推移しております（参考：株式会社角川アスキー総合研究所「ファミ通モバイルゲーム白書2025」）。

このような事業環境のもと、当社グループは中長期的な成長の要となる複数の新規アプリの企画・開発及び既存アプリの運営に取り組んでまいりました。『メメントモリ』では2.5周年施策のほか、ファン醸成を目的としたアートショップイベントを東京・京都に続き、名古屋でも開催するなど、様々な施策を実施いたしました。経年の影響もあり、売上高は直前四半期比及び前年同四半期比で減少となった一方、広告宣伝費を費用対効果を見極めたうえで前年の7割に抑えたことにより、営業利益は増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,427百万円（前年同四半期比12.5%減）、営業利益は1,644百万円（前年同四半期比23.4%増）、経常利益は1,666百万円（前年同四半期比22.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は849百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

なお、当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,169百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,366百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1,143百万円増加、有価証券が600百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,853百万円となり、前連結会計年度末に比べ517百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が613百万円増加、長期借入金（1年内返済予定長期借入金を含む。）が165百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,315百万円となり、前連結会計年度末に比べ849百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を849百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、「品質最優先」の方針のもと、高品質ゲーム及びサービスの開発、世界同時運営及びグローバルIP展開等によって、数年ごとに年間売上高を数倍規模に引き上げていくことを目指しております。

連結業績予想については、当社グループが属する業界の変化が激しいこと、また機動的な投資判断を実施することから、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため、具体的な予想値は非開示とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,300	3,443
売掛金	1,544	1,491
有価証券	600	1,200
その他	794	297
流動資産合計	5,240	6,432
固定資産		
有形固定資産	58	81
無形固定資産	3	2
投資その他の資産	500	653
固定資産合計	562	737
資産合計	5,802	7,169
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	187	35
未払金	908	752
未払法人税等	1	615
その他	96	349
流動負債合計	1,193	1,753
固定負債		
長期借入金	13	—
その他	129	100
固定負債合計	142	100
負債合計	1,336	1,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	562	562
資本剰余金	715	715
利益剰余金	3,296	4,146
自己株式	△107	△107
株主資本合計	4,466	5,315
純資産合計	4,466	5,315
負債純資産合計	5,802	7,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	10,777	9,427
売上原価	5,623	4,718
売上総利益	5,154	4,708
販売費及び一般管理費	3,821	3,064
営業利益	1,332	1,644
営業外収益		
受取手数料	26	16
その他	2	7
営業外収益合計	28	24
営業外費用		
その他	5	1
営業外費用合計	5	1
経常利益	1,356	1,666
税金等調整前四半期純利益	1,356	1,666
法人税等	505	817
四半期純利益	851	849
親会社株主に帰属する四半期純利益	851	849

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	851	849
四半期包括利益	851	849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	851	849

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	12百万円	11百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。